



わたしの中にも

詩に描かれた「つくしつばな」や「もんしろ蝶もんき蝶」から、作者はどんなことを感じているのか考えてみよう。詩を音読して、言葉の持つ音の響きも味わおう。

調べ 授業の前に全文を読んで、下調べをしておこう。

漢字 読み仮名をつけなさい。(●は新出漢字・○は新出音訓)

- ①¹⁰ 伸の びる
- ② 丘^{おか}のポプラ
- ③ 背^せ伸の び
- ④ 吹^ふく
- ⑤ 舞^まい立つ
- ⑥¹¹ 告^つげる

舞

15画
ニ 無 舞 舞 舞

舞

同音の漢字

・伸びる…広がる・長くなる
・延びる…時間が長くなる

語句 次の語句について答えなさい。

気配	ういういしい	羽化 ^{うか}	較ぶ ^{くら} べくもない
11・6	11・2	11・1	10・3
意 なんとなく感じられる様子。	意 まだなれていない様子。	意 さなぎから成虫になる。	意 くらべることはとてもできない。

考えよう

詩に描かれていることを表にまとめよう。

11・5～終わり	10・12～11・3	10・7～10・10	初め～10・5
第四連	第三連	第二連	第一連
<p>わたしの中にも 舞い立とうとする蝶のように</p> <p>「たくさんの人に いきたい。」</p> <p>ことばのひらく 気配がある。</p> <p>「作者は ういういし さを感じて</p>	<p>もんしろ蝶 もんき蝶 が、</p> <p>はじめての空 にひらひら舞い立つ。</p> <p>「作者は ういういし さを感じて</p>	<p>つくしつばな のようとするものがある。</p> <p>伸びた 高さ が重要ではなく、伸びようと することが大事。</p>	<p>つくし つばな 丘のポプラ の 背 の高さは較 ぶべくもない。</p> <p>でも、例 両方とも、「天に向かって／まっ すぐ 背伸びして」いる。</p> <p>わたしの中にも</p>